

JHF理事会議事録

日 時： 2005年11月10日(木) 13:00～17:00

場 所： JHF事務局会議室（豊島区巣鴨3-39-4 東都ビル2F）

1. 議長・議事録作成及び署名人指名

議長：荒井 健雄 議事録署名人：下村 孝一 菊池 守男

2. 定足数確認

出席者：出席【理事】荒井健雄 大沢豊 菊池守男 北野正浩 下村孝一

西ヶ谷一志 松田保子

欠席【理事】関谷暢人 中島吉徳 城涼一

【監事】対馬和也

(出席理事7名、欠席理事3名。今理事会は定足数を満たし成立した)

3. 会長挨拶

下村会長 予算を始め、来年度に向けて話し合っていただきたいと思います。

皆さんの努力で、改革も本格的に動き出し、理事会運営も3,4月頃に比べれば落ち着いてきました。細かな点について意見の違いはあっても、大きな視点で、方向性を決めたいと思います。

4. 審議事項

第11-1号 2006年度予算案

荒井常任理事 来年度予算について、概略を説明させていただきます。

総収入4500万円は会長の見積りに基づいております。それから500万円を運営基金積立とし、残る4000万で予算を組んでいます。3600万が事務経費、保険代、リースの返済等で、次の頁に明細を上げております。そして残った400万に教員検定の収入とか、機体型式認定料とかを入れて500万を事業費として割り振りました。

配分については難しい部分もあるので、予備費を115万円とし、詳細を皆さんと話し合って詰めていこうと思います。

各自担当のところを、一度細かく見ていただきたいと思います。

下村会長 荒井常任理事が言及されました、来年収入についての私の見積ですが、9月末の予算収支進捗管理表の右端に掲載されております。10月までの収支も、予想以上に改善が進んでおりますので、運営基金積立金も予定通り確保できるでしょう。したがって2006年

度 1 年間を我慢すれば、運営基金積立金もあるべき水準をクリアーできると思います。

議長　只今ご説明の通り、かなりいい方向に進んでいます。この 1 年間緊縮財政でやって頂いた結果が、この様な成果につながりました。予算案については、次回理事会までに、各担当分野を検討してきて下さい。

5. 協議事項

11-1 2006 年 FAI 賞候補者推薦について

個人に限定せず、市町村などの団体も含めて、広く正会員に意見を聞くことになった。松田理事の起案で、正会員にメールで呼びかけることになった。

11-2 JHF 共済会の廃止決議案についての請願書

11-3 東京都連から JHF 理事会へ（共済会について）

以上 2 案について、併せて協議した。

共済会廃止については、具体的数字に基づいて経過を説明するとともに、任意部分については、引き受け先の見通しなども併せて報告する必要がある。

今日の理事会の話し合いをベースに、西ヶ谷理事に叩き台を作っていただき、メールで各理事の了解を得た上で、回答することになった。

また埼玉県連から、正会員宛に配信するよう依頼されている同趣旨の文書については依頼どおり配信することを確認した。

関連事項として、報告事項 11-4 について、後述のとおり西ヶ谷理事から報告した。

11-4 JHF フライヤー会員データ確保のための処置

有効会員データについては、部分ごとに区切れば、事務局でもコピー可能なので、その作業を終えた後で、判断することになった。

11-5 事務局所在地の変更について（文部科学省生涯スポーツ課）

制度委員会によれば、（住所変更に伴う）定款改正について、総会を経ることなく正会員の総意をまとめることは難しいとのこと。生涯スポーツ課担当官に相談することになった。

6. 報告事項

11-1 予算収支：進捗管理表

11-2 フライヤー会員技能証・実績

11-3 共済会加入実績

以上3項目について、下村会長から報告した。

共済会加入実績を除き、ほぼ予定通り推移しており、特に予算収支については大幅に改善が図られていることが確認された。共済会については、クローズした場合の最終必要資金について報告するよう事務局に指示した。

11-4 共済会受け皿つくり

西ヶ谷理事から、別紙のとおり報告した。

数社に意向を打診しているが、ハンググライダーについては、どの社も引き受けを辞退している。またパラについては、団体保険の形式であれば、引き受けて貰える可能性がある。その時は共済会を存続して加入したほうが、掛け率の面で有利であるとのこと。いずれにしても事故の内容と損害率のデータがポイントとなる。

11-5 長野県連への回答（検定員選任について）

前回理事会での検討を踏まえて、別紙のとおりドラフトが提出された。

松田理事のレビューを得て、出状することになった。

11-6 JHF事務局引越しのキャッシュフロー（最終）

今期単年度でほぼバランスし、来期以降は事務局管理費の面で、大きな節約効果があることを確認した。

11-7 事故報告と対応についての考察及び

事故調査報告書についての考察

10月理事会で、菊池理事に検討を依頼されたもの。別紙のとおり報告し、ディスカッションした。現行の事故報告書様式については、大変良く出来ているが、「考えられる事故の原因」という欄は削除した方が良いとコメントし了承された。

次回理事会を、12月8日(木)に開催することを決めて閉会した。

宿題：各理事が、2006年度収入を増やすためのプランを、一つ以上準備してくること。

この議事録が事実と相違無いことを確認し、署名する。

議長

(荒井 健雄)

署名人

(下村 孝一)

署名人

(菊池 守男)

議事録作成： 桜井加代子